

2014 年度国際政治経済論 2 レポートについて

下川雅嗣

※レポートの場合は 2 種類(A, B)提出する必要がある (提出時にホッチキス等でとめておくこと)。A は各回の講義 (授業日) ごとにその中で自分が学んだことを 300 字以上でまとめて、最後に全部まとめて提出する。B はレポート執筆要領による。

【B レポート執筆要領】

◎目的

世界的視野で見たとき、未だに人類の大半が貧困の中にいることを考えれば、貧困問題は現在社会、そして国際政治経済において大きなテーマの一つである。しかし、日本においてこの貧困はあまり意識されていないように思う。これは、現実の貧困の状況を身近に感じていないことが大きな原因であろう。このレポートの目的は、日頃の日本での生活であまり触れることの出来ない貧困の現実を少しでも知り、考えてもらうことを目的とする。その際には、できるかぎり、貧困者の視点から考察していくことが望まれる。

(なお、授業では国内の貧困問題は詳しく扱わない予定であるが、「ブックレポート (貧困問題) のための参考文献表」には国内の貧困問題に関しても文献を加えてあるので、関心のあるものは、それらを用いてブックレポートを書いても良い。)

◎レポートの書き方 : 次の①,②のいずれかの方式を選び、それを表紙に明記すること

①貧困問題に関する何からのテーマを決めて書く。この場合は、常識的な小論文であることが要求される (つまり、動機・問題意識、目的、結論がはっきりしていること。そして本文において、結論にいたるまでの論理展開があること。参考文献を用いる場合は、きちんとそれを明記すること。レポートの題名はずつけること)。

②別途紹介する参考文献 (書籍等) のいずれかを読んだ上での、ブックレポートの形式 (内容の要約(1000 字以上)をした上で、それに対しての自分の考察・意見をまとめる) を取る。なお、付けたしとして感想を加えても良い。なお、参考文献表は下記HPの「授業」⇒「国際政治経済論 2」⇒「参考文献表」にて適宜改訂する予定である。

<http://pweb.cc.sophia.ac.jp/shimokawa/>

◎枚数等

原則的には、3000~4000 字程度 (なお、①方式を選んだ場合は、ある程度長くなってもしかたがないが、内容が無いのにだらだらとは書かないように)。A4 横書き。A レポートとホッチキス等でとめて一緒に提出すること。

◎提出方法

1 月 21 日の最後の授業の際に提出するか、その日の午後 5 時までに 2 号館 6 階の下川のポストに提出すること。

◎評価方法

レポートは A と B の 2 つの総合で評価する。また最終評価は、レポート点と出席点で行う。